

ワクワクステージ

開 会 式

■日時：令和6年6月1日(土) 10:15～10:40

主催者挨拶(概要)

農林水産大臣政務官 高橋 光男

本日、第19回食育推進全国大会が「いのち輝くミライ食育」をテーマに開催されますことに、心より御礼申し上げます。日頃より食育推進にご尽力いただいている、吉村洋文大阪府知事、中谷恭典大阪府議会議長、横山英幸大阪市長、竹下隆大阪市長をはじめ、国会議員、府議会議員、市会議員の皆様、そしてご来賓の皆様に厚く御礼申し上げます。また、実行委員会をはじめ、今大会の開催に向けて多大なるご尽力をいただきました関係者の皆様に感謝を申し上げます。食育は、私たち一人ひとりが健康な食生活を実践し、持続可能な社会を築くために欠かせないものです。政府は、令和3年3月に決定した第4次食育推進基本計画に基づき、国民の健康や食を取り巻く環境の変化、社会のデジタル化などを踏まえ、食育を総合的に推進しています。また、成立して間もない改正食料・農業・農村基本法では、食育の重要性が改めて強調され、国民一人ひとりの食料安全保障の確保を図ることが明記されました。そして、食育を進めるためには、ボランティアや教育関係者、事業者の皆様など、幅広い皆様の協力が不可欠です。

この点、「兵庫県いずみ会」の皆様が第8回食育活動表彰のボランティア部門で農林水産大臣賞を受賞されたことに對し、心からお慶びを申し上げます。本開会式のあと、全国各地で健全な実績を挙げられた食育活動に対する表彰式が予定されております。各部門の受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げますとともに、全国各地で食育を推進していただいている皆様の日頃のご活動に深く感謝申し上げます。今後も、地域における食育の輪を広げていくため、皆様との連携を強化し、積極的に取り組んでまいります。本日の大会を契機に、全国各地で食育の理解が一層深まり、食育の取組がますます進展することを祈念いたします。



ワクワクステージ

主催者挨拶(概要)

大阪府知事 吉村 洋文

本日、第19回食育推進全国大会が大阪で開催されることを大変嬉しく思っております。食育推進全国大会の大阪開催は今回で2回目となります。また、第19回目の今回は大阪・関西万博の前年度ということで、「ワクワクEXPO」と銘打っております。皆様と一緒に食育を学び、楽しみながら、未来の食についても考えていきたいと思っています。本日は高橋政務官はじめ、国会議員の皆様方、関係者の皆様、お忙しい中お越しいただきありがとうございます。実行委員会の皆様には、この素晴らしい大会と一緒に作り上げていただき、感謝しております。

大阪は食文化というものが非常に大切にされており、「天下の台所」と言われるほどの食文化が脈々と続き今日まで発展してきました。美味しいもの、楽しいものがたくさんあり、この大阪の食文化を通じて、食育を更に広めていきたいと思っています。だし文化をはじめ、非常に奥深い食の歴史があるのが大阪の地、関西の地であると思っています。この機会に皆様と一緒に食を通じた健康、心と体の健康づくりである食育を共有し、楽しく全国に広げていくことができたいと思っています。この2日間、色々なイベントや180ものブースが出展されているので、ぜひ楽しんでください。大阪府では若い世代で朝ご飯を食べない家庭が多いということも踏まえ、この後、横山市長と朝食クッキングショーにも参加します。健康のために、朝食をしっかり食べ、野菜も摂取しようというのが本企画のコンセプトです。

来年は大阪・関西万博があり、テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。いのちと食は繋がっています。150カ国以上が参加する万博で、未来社会のあり方を皆様と一緒につくりあげていきたいと思っています。来年のEXPOもぜひ楽しみにしててください。この食育推進全国大会を、皆様と一緒に成功させましょう。ありがとうございました。



主催者挨拶(概要)

大阪市長 横山 英幸

第19回食育推進全国大会が盛大に開催され、本当に嬉しく思います。関係者の皆様、誠にありがとうございます。今回の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝と御礼申し上げます。大阪にはたくさんの地元の野菜や果物、産物があります。どういう地域でどのようなものが作られているかということを知っていただくことで、町づくりにも大いに参考になるイベントだと思っています。ところで皆さん、1日に必要な野菜の摂取量ってご存じでしょうか？実は350gとされています。私がイベントで測ったところ、350gにまったく足らず、100gしかありませんでした。思っているよりもたくさんの野菜を摂らないといけないのを知りました。こういうことを知っていただくことで、健康づくりの参考になるとと思いますので、ぜひ皆さんのブースを回っていただいて、食育について学んでいただきたいと思います。

この2日間で多くのタレントの皆様や専門家の皆様の講演やイベントがありますので、ぜひいろいろ参加してお楽しみください。今回は吉村知事と一緒にクッキングショーを予定しておりまして、知事と一緒に朝食の大切さをアピールすることになっています。今回のイベントは万博のプレイベントで、来年はいよいよ万博です。今回と同じいのちというテーマで開催されますので、食育大会を通じて万博もどんどん盛り上げていきたいと思っています。どうか皆様、引き続きよろしくお願いいたします。



ワクワクステージ

来賓祝辞(概要)

復興大臣・衆議院議員 土屋 品子 氏

埼玉県春日部市、フレヨンしんちゃんの町から参りました。今回、19回目の食育推進全国大会が大阪での開催となりましたが、大阪は1回目の開催においても立候補していただき、また今回も手を挙げていただいて本当にありがたいと思っております。19年前、食育基本法ができてから、食育は全国的に広まりました。今では、ほとんどの人が食育という言葉を知っていると思います。でも、食育って具体的にどんなことか、まだよくわからない人もいるかもしれません。これから、皆さんと一緒に食育を推進していくことが大切です。年齢によって食育のあり方は変わってきます。赤ちゃんから高齢者まで、それぞれに合った食育をすることで、健康な生活を送ることができます。

最近、復興大臣になってから、食育と復興の関係について考えるようになりました。特に、災害時の備蓄は重要です。能登半島地震の支援でも、物資が届くまでに時間がかかったことを考えると、最低3日分、可能ならば1週間分くらいの備蓄は必要だと思っています。家族それぞれの年齢に合わせた備蓄も大切です。例えば、高齢者は嚥むのが苦手なので、お粥のレトルトパウチなどを用意しておくといいでしょう。病気の人や、入院中の赤ちゃんのために、液体ミルクも用意しておくことで安心です。さらに、カセットコンロとカセットボンベがあると、ミルクやご飯を温めることができ、温かいものを食べることは、心身ともに大切です。復興大臣になって、災害時の備蓄の重要性を改めて実感しています。皆さんも、食育の中に災害時の備蓄について考えて、家族で話し合っておいていただけたら嬉しいです。今回の大阪大会が、皆さんにとって実りあるものになることを願っています。ありがとうございました。



来賓祝辞(概要)

大阪府議会議員 中谷 恭典 氏

「ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会」に、全国から大阪にお越しいただき誠にありがとうございます。心からお慶び申し上げます。

来年4月に開催されます「2025年大阪・関西万博」は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げていますが、万博のプレイベントとなる本日の大会においても「いのち輝くミライ食育」をメインテーマにさせていただいており、まさに食育から未来を考える大会となっています。

最近、拝見した童話がありまして、その中の食事のシーンでは笑顔の場面と怒られている場面が出てきます。話を読んでみると、食事はやっぱり笑顔で食べる、これが一番大事だと伝わってきます。これももちろん食育だと思うんです。本日は180のブースが出展されていると伺っております。ご来場の皆さまには大いに楽しんでいただき、食育をさらに推進し、日本の食文化を作っていく、この大会がそのきっかけになればと思っています。

府議会を代表いたしまして、大阪ウェルカムのご挨拶をさせていただきました。本大会に携わっていただいた皆様方に感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



ワクワクステージ

来賓祝辞(概要)

大阪市会議長 竹下 隆 氏

本日はこの食育のことを考える会ということで全国より多くの方に集まっただきましてありがとうございます。また開催にあたり非常に多くの関係者の皆様に関わっていただき、このような形で実現していただいたことに大変感謝申し上げます。

大阪市では食育について、これまでもずっと考えてまいりました。といいますのも小学校と中学校の給食がございます。大阪市ではいち早く子どもたちの給食を無償化することにより、親の負担をできるだけ軽くしていこうということで現在も無償化を続けております。実は無償化した理由はもう1つあります。この給食というものを食育、つまり教育ととらえ、学校にいる時間にいろんなことを学んでもらおうと思ったからです。

現在、いろんな子どもたちの意見を聞きながら、残食率を少なくしていくという方向で考えております。今、食事は関係者に作っていただいておりますが、子どもたちが食事を通して考え、学ぶことによって、新たな食事を考えていけるような環境ができればいいなと思っております。先ほどもありました、大阪は「天下の台所」だということで、大阪に来た方がいろんな食を経験していただき、今回特にこの場に一堂に全国からいろんなものが集まっていると聞いておりますので、どうか皆さんで最後まで楽しんで、食育を考える場にさせていただきたいなと思います。本日も越しになった皆様、また関係者の皆様のますますの健康とご多幸を祈念いたします。本日はお招きいただきまして、ありがとうございました。



来賓紹介

※登壇者のみ、挨拶者以外

参議院議員 太田 房江 氏

参議院議員 東 徹 氏

大阪府議会副議長 中井 もとき 氏

食育推進評価専門委員会座長 服部 幸應 氏

第8回食育活動表彰審査委員長 中嶋 康博 氏

祝 電

衆議院議員 佐藤 しげき 氏

参議院議員 太田 房江 氏

参議院議員 浅田 均 氏

参議院議員 高木 かおり 氏

ワクワクステージ

第8回食育活動表彰表彰式

■日時:令和6年6月1日(土) 10:40~11:15

農林水産省はボランティア活動、教育活動または農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じた食育の取組を対象として、その功績を称えとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として「食育活動表彰」を実施しています。今年度は、応募のあった個人・団体のうち、特に優れていた5団体に農林水産大臣賞、14団体に消費・安全局長賞、5団体に審査委員特別賞を授与しました。

受賞者一覧

ボランティア部門

(1)食生活改善推進員の部

【農林水産大臣賞】
兵庫県いすみ会[兵庫県]【消費・安全局長賞】
山梨県食生活改善推進員連絡協議会[山梨県]
九戸村食生活改善推進員協議会[岩手県]
大阪市食生活改善推進員協議会[大阪府]【審査委員特別賞】
網走市食生活改善協議会[北海道]

(2)食育推進ボランティアの部

【農林水産大臣賞】
キッズ☆サポーター[福井県]【消費・安全局長賞】
萩市の食育を支える会[山口県]
宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA[京都府]
なめりかわ食育サポーターの会[富山県]【審査委員特別賞】
相愛大学発達栄養学科チーム「ロスノン」[大阪府]
高松市生活研究グループ連絡協議会[香川県]

教育関係者・事業者部門

(1)教育等関係者の部

【農林水産大臣賞】
佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部[佐賀県]【消費・安全局長賞】
埼玉県春日部市立牛島小学校[埼玉県]
一般社団法人日本食育HEDカレッジ[東京都]
福岡県立戸畑高等学校 家庭クラブ[福岡県]【審査委員特別賞】
岡山県立大学保健福祉学部子ども学科[岡山県]

(3)企業の部

【農林水産大臣賞】
千葉ジェッツふなばし[千葉県]【消費・安全局長賞】
株式会社松本山雅[長野県]
株式会社伊藤園[東京都]
株式会社ライフコーポレーション[東京都]

(2)農林漁業者等の部

【農林水産大臣賞】
サスティナ鶴岡[山形県]【消費・安全局長賞】
西美濃農業協同組合 ふるさと隊[岐阜県]
鈴木芳昭[千葉県]【審査委員特別賞】
JA糸島青年部[福岡県]

ワクワクステージ

審査委員長講評(概要)

食育活動表彰審査委員会委員長 中嶋 康博 氏

今日は、第8回食育活動表彰の審査委員を代表して、ご講評を述べさせていただきます。全国から集まった154件の審査を行い、その中から非常に優れた取組として、大臣賞、局長賞、そして食育の領域を広げるアイデアあふれた取組を審査委員特別賞として24の団体や個人の食育活動を表彰することになりました。受賞された皆様に心からお慶び申し上げます。審査委員会では、先進性、継続性、有効性、波及性、そして実践性の5つの観点から、評価をいたしました。

さらに対象活動が、第4次食育推進基本計画の三つの重点課題、「生涯を通じた心身の健康を支える食育」「持続的な食を支える食育」「『新たな日常』やデジタル化に対応した食育」の効果的な解決に資すること、地域における食の循環、全体の中における自身の活動の目的や目標を明確にし、企画、実施、評価に関して地域の連携が取れているか、という観点から審査しました。皆さんの真摯に取り組む姿勢や熱意と創意工夫に感心し、審査委員一同大変勉強になりました。食をめぐる環境が大きく変化していることを踏まえて定められた重点課題を皆さんが正しく理解し、把握され、課題の推進を力強く支えていただけたと確信しております。多くの事例の中で、二つの姿勢がとても印象的でありました。一つは、複数の世代が重層的に関わる活動を推進していること、もう一つは生産行為を取り入れた活動など、食を作ることへの理解を含め、食べることの大切さを感じるために体験を重視していることでした。

今回表彰された皆様におかれては、コロナ禍で活動が制限された状況の中でも、創意工夫を凝らし、それ故に、未来に向けた飛躍のきっかけになる新たな要素を見出していただけただのではないかと、思っております。いずれも多くの方々のご協力に基礎を置いた取組でして、社会の隅々まで食育の理念を広げていただいたことに感謝を申し上げます。最後にこの表彰をきっかけに、新たな食育の取組が広がっていくことを期待しています。本日は誠にありがとうございました。



オープニング

第15回日本高校ダンス部選手権優勝 久米田高校ダンスステージ

▶実施概要

日時:令和6年6月1日(土)11:30~11:50
出演:大阪府立久米田高校ダンス部、太鼓部

内容:1. ダンス部「だんじり」 2. 太鼓部「イグアス」 3. ダンス部&太鼓部「セタ」 4. ダンス部「この地球(ほし)の続きを」



ワクワクステージ

大阪湾の魅力を語る！

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 13:00～13:10

出演：大阪府漁業協同組合連合会代表理事会長 岡 修 氏

内容：大阪湾では1,200隻以上の漁船が活躍しており、脂の乗ったマイワシやシラス、キジハタなど100種以上が獲れる。古くから漁業が盛んであったことを示す歴史的資料などを紐解きながら、大阪湾の漁業が長い歴史を持つことを学んだ。岡氏は現在、レストランやショッピング、民泊、漁業体験など、観光資源を活用した取組が進められており、大阪産魚介類の魅力を発信していることを紹介するとともに、大阪湾の環境や水産資源を守る重要性を訴えた。



大阪湾の恵みにギョギョッ!さかなクン トークショー

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 13:15～14:00

出演：さかなクン（東京海洋大学名誉博士・客員教授、農林水産省 お魚大使、全国漁業協同組合連合会 食食普及推進委員）

内容：さかなクンの楽しいトークとクイズを通して、子どもたちは大阪湾の魚たちへの理解を深め、食の大切さについて学ぶ貴重な機会となった。魚の名前当てクイズでは、子どもたちは魚の絵を見て、その特徴をじっくり観察して答え、さかなクンは答えの解説とともに、大阪湾の豊かな環境が魚の味に影響を与えることを教えた。さらに、様々な魚の特徴を詳しく解説し、魚のおいしさについても熱心に語った。



ワクワクステージ

食の大阪から、食の未来を見つめよう
小山薫堂×門上武司 トークセッション

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 15:00～16:00

出演：小山薫堂氏（放送作家、京都芸術大学副学長）、門上武司氏（あまから手帖編集顧問）

内容：

●大阪の食について

（小山） やっぱり粉モンは食べたくりますね。大阪はお好み焼きをただ食べるだけでなく、一緒に飲んだり、たこ焼きとシャンプンのお店とか、ああいうのが良いと思いますね。

（門上） お好み焼きも単品で終わらせず、どういう飲み物が合うとか、お好み焼きにおでん入れたらどうか、美味しがる精神が大阪にはあふれていると思うんです。

●大阪の元祖モンについて

（小山） たこ焼きは元祖ですよ。他にも串カツとかホルモンとか、いっぱいありそうですね。

（門上） まずは回転ずし。回転するカーブを開発したとか。カレーライスの起源はインドですが、当時高級食だったものを大阪の阪急百貨店が安く提供し庶民食にしたという話もあります。

●大阪・関西万博パビリオン「アーススマート」の見どころ

（小山） 建物は、循環の象徴“萱葺き屋根”を採用しました。中には2つのゾーンがあり、「生命の売場」では日本人が一生に食べる卵の数、約28,000個の卵を使用したシャンドリアの展示や、「未来の売場」では冷蔵庫不要で50年後も食べられる究極の保存食“梅干し”にフォーカスしたコーナーなどがあります。私の故郷熊本県から万博を応援するためにくまモンも来てくれましたよ。

●アースフーズ25について

（小山） パビリオンの展示のひとつアースフーズ25は、栄養や環境、持続性などの視点から、食の未来をより良くするため、世界に共有したい日本発の食の知恵や食材についての展示です。

（門上） ふぐは毒があるけど調理の仕方です美味しい食べ物になるということを大阪の万博から世界に発信したいですね。



ワクワクステージ

ミyakumiyakuがご案内 大阪・関西万博PRステージ

▶実施概要

日時：令和6年6月1日(土) 16:30～17:00

内容：大阪・関西万博の公式キャラクター、ミyakumiyakuが登場して会場を盛り上げた。イベントでは、ミyakumiyakuの愛称の由来や万博のテーマ、開催場所、開催期間などの情報を紹介。さらに、万博に関するクイズも白熱。特に、ミyakumiyakuの青い目玉の数のクイズでは、会場全体が一体となり、正解した子どもたちにはミyakumiyakuグッズがプレゼントされた。最後には、ミyakumiyakuとの写真撮影タイムが設けられた。



ミyakumiyaku、くまモン、大阪ご当地キャラクターダンスステージ

▶実施概要

日時：令和6年6月2日(日) 10:15～10:30

内容：大阪府の「もずやん」、大阪市の「たべやん」など大阪のご当地キャラクターたちが大集合。さらにミyakumiyakuや特別ゲストとしてくまモンも登場。各キャラクターたちは、それぞれの出身地や特徴をアピールしながら、観客を沸かせた。最後は全員で大阪・関西万博のテーマソング「この地球(ほし)の続きを」の曲にのせてダンスを披露。会場と一体となって盛り上げた。



もずやん(大阪府【公式】)、ミyakumiyaku(大阪府・大阪市【公式】)、たべやん(大阪市)、すいたん(吹田市【公式】)、いばらっきーちゃん(茨木市【公式】)、コダイくん・ロマンちゃん(和泉市【公式】)、おづみん(泉大津市【公式】)、だじりっち(田尻町【公式】)、ゆるナキン(泉佐野市【公式】)、泉南熊寺郎(泉南市【公式】)、みさっきー(岬町【公式】)、ちきりくん(岸和田市【公式】)、つぶたん(羽曳野市【公式】)、たいしくん(太子町【公式】)、もり吉(守口市【公式】)、くまモン(熊本県【公式】)

ワクワクステージ

NMB48メンバーといっしょに学ぼう
大阪発、里山の食体験から地域を元気に

▶実施概要

日時：令和6年6月2日(日) 12:00～12:30

出演：NMB48(出口結菜・龍本弥生・青原和花)、中井建氏(日本料理 新オーナーシェフ)、野中朋美氏(早稲田大学教授)、溝畑宏氏(大阪観光局理事長)

内容：食品ロスの削減や食育など、持続可能な食の未来に向けて熱い議論が交わされた。「日本料理 新」中井シェフは地元食材を生かした料理で食品ロス削減を訴え、早稲田大学の野中教授は食を通して世界と日本をつなぐ重要性を強調。大阪観光局の溝畑理事長は食の安全や食料危機といった課題を提起し、NMB48メンバーは若い世代の食に対する意識改革の必要性を訴えた。

食の未来トークセッション
ワクワク食育で、フードロス削減や
カーボンニュートラルに貢献!

▶実施概要

日時：令和6年6月2日(日) 13:30～14:10

出演：古川英光氏(山形大学教授・副学長特別補佐・工学部長特別補佐)、杉崎宏氏(仏料理人、Le Cœur 代表、IJCC<在日アイルランド商工会議所>アドバイザー、日本政府・デジタル田園都市国家構想・地域DXプロデューサー最高ランク3ツ星)、村瀬裕明氏(工学博士、大阪ガスリキッド株式会社 常務取締役 樹脂粉体事業部長)、福世明子氏((株)シグマクシス プリンシパル)

協力：(株)シグマクシス

内容：食料危機や環境問題への懸念が高まる中、食と地球の未来を見据え、最新のテクノロジーと食文化を融合させた持続可能な社会の実現に向けたトークセッションを開催した。長期保存が可能なゲル粉末を3Dフードプリンターで様々な食品に再生する技術や、液体窒素を用いた食材の粉末化技術などを紹介。食は栄養摂取を超え、人々の心身の健康、そして社会全体の持続可能性に貢献する重要な要素であることを伝えた。



ワクワクステージ

引 継 式

■日時：令和6年6月2日（日） 14：45～15：00

主催者挨拶（概要）

農林水産省大臣官房審議官（兼消費・安全局） 坂田 進

食料をめぐる国内外の状況は刻々と変化をしており、食料安全保障上のリスクは増大しております。農林水産業の生産から消費までの過程をはじめとして、それらの課題への国民の理解をさらに深めていくことが必要です。今大会は国民の皆様のご行動変容を促すきっかけとなる意義のあるイベントであり、ご来場の皆様におかれましては、この場で体験した食育の取組や知識を家庭や地元に戻られた際に、ぜひご家族や仲間の皆様と共有していただき、食育の活動をさらに広げていただければ幸いです。来年は徳島県で食育全国大会が開催されます。徳島県の皆様と協力して準備を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



大阪府健康医療部長 西野 誠

2日間にわたり、たくさんの方々にワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会にお越しいただき、誠にありがとうございます。今回の大会では、180以上の団体と企業がブースを出展し、食に関するステージイベントや各種セミナーも盛りだくさんでした。どのブースも大盛況で今日を迎えられたことに重ねてお礼申し上げます。この食育推進全国大会は、来年開催される大阪・関西万博のプレイベントとして位置づけております。万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。健康とこのちをテーマにした万博となります。たくさんの方から、いろんなイベントやテーマ館が登場します。来年も是非、大阪・関西万博にお越しください。先程、坂田審議官からもお話がありましたが、来年は記念すべき20回目の食育推進全国大会が徳島県で開催されます。大阪と徳島は非常に近い場所にありますので、この機会に交流をもっと広げていきたいと思っています。是非、徳島県にも足を運んでいただきたいと思います。結びとなりますが、2日間にわたり本大会にご協力いただきました関係者全ての方々に改めてお礼申し上げますとともに、来年の徳島大会の成功と皆様のご健勝を祈念いたします。2日間ありがとうございました。

次期開催地挨拶（概要）

徳島県農林水産部長 中藤 直孝 氏

来年6月、徳島県で第20回食育推進全国大会を開催できることを嬉しく思います。徳島は大阪から近く、アクセス抜群なんです。阿波踊りや鳴門の渦潮はもちろん、自然も豊かで、吉野川や剣山、変化に富んだ海岸線など、見どころ満載です。食の宝庫としても知られていて、すだち、ゆず、にんじん、レンコン、なんと金時など、おいしい農産物がたくさんあり、海の幸も豊富で、鳴門のわかめや鯛、最近では養殖サツキマスの“阿波さつき”も注目されています。阿波尾鶏もおいしいです。郷土料理も魅力的で、江戸時代からの伝統製法で作られる半田そうめんなど、どれもおすすめです。来年は、すだちくんと一緒に食育推進全国大会を盛り上げていきますので、ぜひ徳島に遊びに来てください。



クッキングステージ

おいしく食べよう!みんなで食べよう!
ポスターコンクール表彰式

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 11：30～11：45

内容：大阪府内の小学生・支援学校小学部の児童を対象とした「おいしく食べよう!みんなで食べよう!ポスターコンクール」の表彰式を開催。約2,000点の作品の中から選ばれた優秀作品が表彰され、大阪府知事賞、大阪府教育長賞、大阪未来ワクワク賞が贈られた。家族や友達と楽しく食事をする様子を描いた多くの力作が、食の大切さを伝えた。

吉村知事&横山市長が腕を振るう!
朝食クッキングショー

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 11：45～12：30

出演：大阪府知事 吉村洋文、大阪市長 横山英幸、唐渡泰氏（リュミエールグループ オーナーシェフ）、（学）三幸学園 辻学園調理・製菓専門学校

内容：昨今、大阪府では朝ごはんを食べている人が少ないという統計もあり、朝ごはんを食べることの大切さを府民に広くアピールするべく、吉村知事と横山市長が朝食クッキングに挑戦。12年連続ミシュランの星を獲得したフレンチレストラン「リュミエール」の唐渡シェフが料理を監修、また辻学園調理・製菓専門学校の講師陣がアシスタントを務めた。ステージでは、唐渡シェフが手掛けるブーランジェリー「パンカラト」の人気メニュー「野菜たっぷりプレート」を二人が四苦八苦しながらもなんとか完成。試食には二人と唐渡シェフ、そしてさかなクンも飛び入りで参加。吉村知事と横山市長の奮闘ぶりは会場を沸かせた。



クッキングステージ

「おおさかEXPO ヘルシーメニュー」 コンテスト 決勝戦&表彰式

▶実施概要

日時：令和6年6月2日（日） 10:30～11:45

内容：2025年の大阪・関西万博に向けて、大阪の食の魅力をより多くの人に届けるため、健康と大阪産（もん）を取り入れた丼レシピを大阪府内の大学や専門学校に在籍する学生を対象に募集。46チームの応募があり、最終選考に残った辻学園栄養専門学校【栄養士ひよこトリオ】、大阪樟蔭女子大学【半熟たまごクラブ】、大手前大学【トパーズ】の3チームがステージでしのぎを削った。最優秀賞に輝いたのは辻学園栄養専門学校【栄養士ひよこトリオ】の「見た目たこ焼き!甘酢餡かけ丼」。審査員からは「想像していた味よりもあっさりとしていて、意外性があった」と評価された。



四條上方流 庖丁式

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 10:30～11:00

出演：室田大祐氏（四條上方流 家元）、平川泰司氏（四條上方流 師範）、上西剛志氏（四條上方流 中伝）

内容：平安時代初期に天皇の料理への興味から生まれた四條上方流庖丁式は、古くは武家の嗜みとして親しまれ、戦国時代を経て庶民に広がった伝統芸能。現在は、無形文化財に登録されている。手を魚に一切触れることなく、庖丁と真菜箸のみで魚を料理する高度な技術が披露された。



創業150年、老舗を継ぐ親子の技が冴える。 鴨の解体実演

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 15:30～16:00

主催：河内鴨ツムラ本店

内容：創業150年の老舗鴨肉専門店「河内鴨ツムラ本店」の津村社長が鴨の解体を実演。鴨の部位ごとの名称や特徴、生食で食べられるようにするための工夫などを解説し、鴨肉を使った商品の試食も行われた。大阪・関西万博に向けて開発している、常温で保存できる缶詰についての話もあった。



クッキングステージ

食都大阪生まれ「たこ焼き」の未来とは？ 粉モン食育セミナー

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 14:00～14:45

出演：熊谷真菜氏（日本コナモン協会会長）

内容：大阪のソウルフード、たこ焼きが大阪の食文化から生まれ、世界中で愛されるまでに至った歴史や、海外での定着状況などを紹介。客席の親子にステージに上がってもらい、一緒にたこ焼きを焼き、最後に試食として振るまわれた。たこ焼きという身近な食文化を通じて、食の大切さや伝統を守りながら新しい文化を生み出すことの素晴らしさを伝えた。



天然昆布の真の実力を知る。 大阪だし文化セミナー

▶実施概要

日時：令和6年6月2日（日） 12:30～13:10

出演：土居純一氏（こんぶ土居 4代目）

内容：「こんぶ土居」4代目の土居純一氏が、昆布の魅力を文化と健康の両面から解説。大阪の食文化における昆布の重要性や歴史、健康への効用などを説明し、さらに家庭でも簡単にできるおいしいだしの取り方を実演。土居氏は、昆布が大阪のたこ焼きやうどんなど、様々な料理に欠かせない存在であることを強調。参加者はだしの試飲を通じて、本格的な昆布だしのおいしさを味わった。



地元大阪の人気寿司店が登場！ マグロ解体ショー

▶実施概要

日時：令和6年6月2日（日） 13:50～15:30

主催：大起水産（株）

内容：回転寿司店などを展開する「大起水産」が60kgを超える本マグロを使った迫力満点の解体ショーを開催。マグロの解体過程や部位ごとの特徴、栄養価などを分かりやすく説明し、参加者にマグロの知識を伝えた。マグロの皮や中落ちなど、様々な部位の美味しい食べ方が紹介され、参加者は新鮮なマグロを試食した。



ワークショップホール

大阪の名物喫茶店に教わるコーヒー抽出法「ボイリング」体験

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 11:00～12:00

主催：（株）ミキシング／平岡珈琲店

参加対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

内容：1921年創業の平岡珈琲店が行う独特なコーヒー抽出法「ボイリング」のワークショップ。鍋で沸かしたお湯にコーヒーの粉を直接入れ、ポットに取り付けたキッチンペーパーで漉す方法を、ひと組ずつ体験。コーヒーの歴史、産地や生産量の現状など、学びの話を交えながら実施した。



ヘルシオシリーズを使って、はじめての調理体験！

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土）

12:45～13:30／13:45～14:30

主催：シャープ（株）

参加対象：小学生

（保護者同伴〈高校生以上可〉）

内容：ヘルシオを使って唐揚げと焼き野菜、ホットクックではウインナーとポテトのマヨ炒めの調理を実践。仕込みのあと、料理が完成するまでの間には、食べ物の働きや、機械で簡単に料理ができる仕組みについての話も。最後は保護者も交えて試食を行った。



梅田でとれた蜂蜜はどんな味？ ミツバチ食育学習会

▶実施概要

日時：令和6年6月1日（土） 15:30～16:30

主催：NPO法人梅田ミツバチプロジェクト／

ヤンマーホールディングス（株）

参加対象：小学4年生以上

内容：大阪・梅田のビルの屋上でミツバチを飼育する団体が登壇。対面によるセミナーとともに、養蜂場からの中継も行い、実際の作業内容を紹介しながらミツバチの生態について解説した。とれたての蜂蜜の試食も実施。参加者からは多くの質問が飛び交った。



ワークショップホール

牛乳のはなし&バター作り体験

▶実施概要

日時：令和6年6月2日（日）

10:30～11:00／11:30～12:00／

12:30～13:00

主催：雪印メグミルク（株）

参加対象：

小学生以上（中学生以下は保護者同伴）

内容：まずは、生クリームが入ったカプセルを振ってバターを作る体験。できたてのバターはクラッカーに塗って試食し、一緒にカプセル内にできあがるバターミルクも味見。また、牛乳に含まれるカルシウムの量の豊富さをわかりやすく示しながら、牛乳から様々な栄養がとれることを伝えた。



大阪産（もん）を使って華やかに。フィルムケーキ作り体験

▶実施概要

日時：令和6年6月2日（日）

14:00～14:50 / 15:10～16:00

主催：（株）阪急阪神ホテルズ

参加対象：

小学生以上（中学生以下は保護者同伴）

内容：ホテルのパティシエといっしょに、大阪産（もん）のデラウェアを使ったケーキ作りを体験。工程ごとにパティシエが作り方を説明しながら進行。最後の仕上げの際には、参加者から一斉に歓声が上がった。試食もあり、大阪産（もん）フルーツの啓発を行った。

